

厚生労働省北海道労働局発表  
令和6年12月12日

照会先

厚生労働省 北海道労働局労働基準部監督課  
課長 河合 博文  
主任監察監督官 土谷 啓二郎  
電話 011-709-2311 (内線 3545)

## 「ベストプラクティス企業との意見交換」を実施しました ～ 11月28日に北海道労働局長が株式会社オリタ物流を訪問 ～

厚生労働省北海道労働局（局長 <sup>みとみ のりえ</sup> 三富 則江）は、毎年11月に実施している「過重労働解消キャンペーン」の一環として、働き方・休み方改善に積極的に取り組んでいる株式会社オリタ物流を「ベストプラクティス企業」<sup>( )</sup>に選定し、11月28日に、荷主企業である株式会社セイコーフレッシュフーズにて、  
運送事業者、荷主企業の各々の取組について意見交換<sup>( )</sup>を行いました。

「ベストプラクティス企業」

「ベストプラクティス企業」とは、最もよいと思われる方法で働き方・休み方改善に積極的な取組を行っている企業のことです。

意見交換の様子は、別途北海道労働局公式 YouTube でも配信します。



### 【記念撮影の様子】

「ベストプラクティス企業の選定」を記念して本田社長（右から2番目）、三富労働局長（左から2番目）を中心に写真撮影を行いました。

## 【株式会社オリタ物流 会社概要】

本社所在地：北海道札幌市白石区流通センター7丁目  
1 - 40 流通センター第8ビル2階

資本金：3,000万円

代表者：代表取締役社長 ほんだ たつや 本田 竜也

設立：2001年9月

事業内容：主にセイコーマート店舗への配送の  
他、セコマグループの道内外の各拠  
点センターへの輸送、調達物流等

労働者数：125名（うち運転手101名）



## オリタの取組

### 【取組の概要】

オリタ物流では、2012年頃より、働く人にとって魅力ある会社になるため、荷主であるセイコーフレッシュフーズや、協力運送会社と一体となって【処遇改善】【安全】【安心】を3本柱に、以下に説明するような様々な取組を行っています。

これらの取組が功を奏して、取組を本格化させた2012年と比較し、2024年現在、残業時間は約30%削減され、働く人の年収も約1.5倍に増加、3年定着率にも顕著な改善が見られました。

### 【処遇改善の取組】

オリタ物流では、運行経路の見直しや、業務の効率化を行うこと等により収益を増加させ、労働時間の削減や賃金引上げによる処遇の改善を行いました。



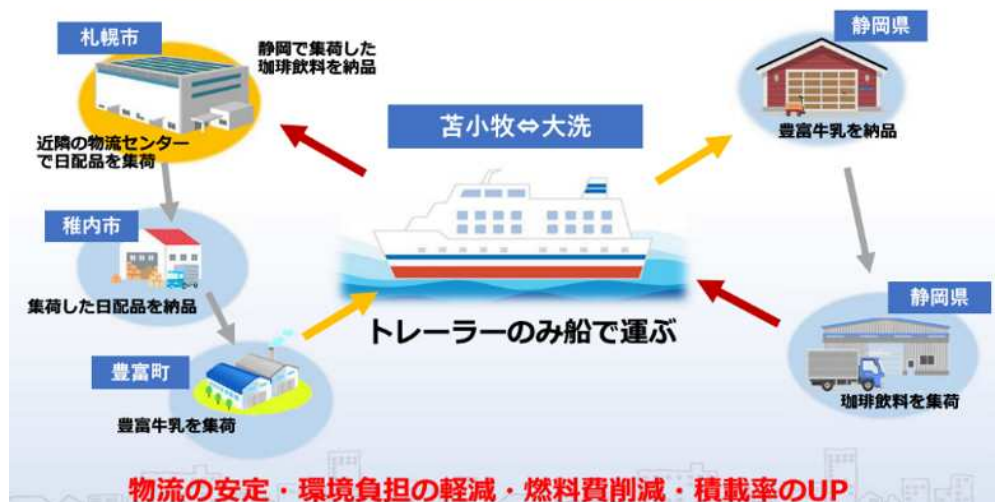
### 往復実車とモーダルシフトの実現

オリタ物流では、業務効率化の取組の一つとして、荷主であるセイコーフレッシュフーズや協力運送会社らと協力して「往復実車輸送」と「モーダルシフト( )」を実現しました。

これにより、物流の安定・環境負荷の軽減・燃料費削減・積載率のUPにも繋がりました。

## 輸送形態の工夫（モーダルシフト&往復実車）

### モーダルシフト&往復実車の実現



( ) モーダルシフト

トラック等の自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶による輸送に転換すること。長距離の運転を行わないことでドライバーの長時間労働を未然に防ぐことができます。



## 労働時間の短縮

運行経路の見直し、休日の増加、年休取得の促進だけではなく、運行管理者によるタイムマネジメントを行い、加えて点呼支援ロボット「ケビー」の導入により、運行管理者についても業務の効率化・労働時間の短縮を図りました。

点呼支援ロボットの「ケビー」です  
運行管理者さんを助けているよ



## 処遇改善の取組

- ・ 運行経路の見直し
- ・ 合理的な輸送形態への変更
- ・ デジタルタコグラフの採用
- ・ IT点呼の採用
- ・ 管理職への労働時間の通知

**労働時間の減少**

**効率化・増収**

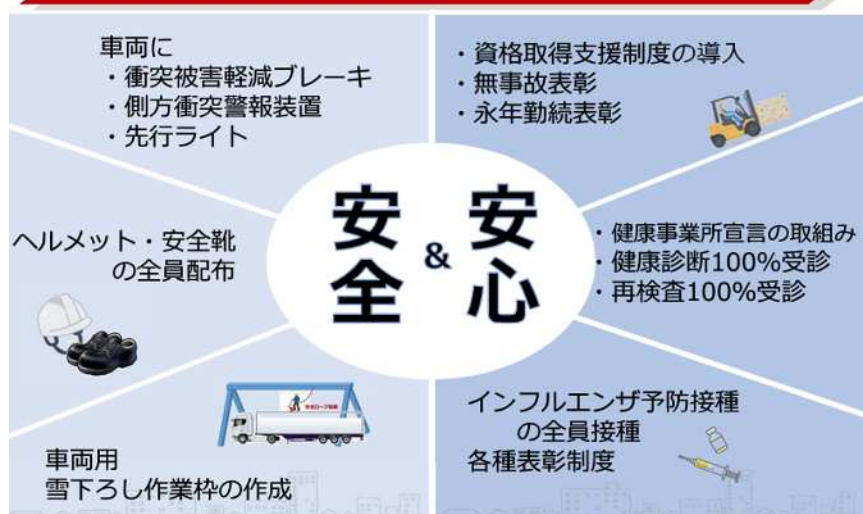
- ・ 荷主への運賃値上げ交渉

**賃金の引上げ**

## 安全・安心の取組み

### 【安全・安心の取組】

運行経路・形態の見直しと並行して、働く人の安全・安心を実現するため、右図に挙げられるような車両の設備改善、作業設備の設置や、福利厚生充実の充実も図りました。



### 【意見交換の様子】



意見交換の様子を見つめる労働基準局  
広報キャラクター「たしかめたん」



## 【荷主である株式会社セイコーフレッシュフーズの取組の概要】

運送業における2024年問題の対処に当たっては、運送会社の努力のみならず、荷主（発荷主、着荷主）の協力も欠かせません。

オリタ物流の荷主であるセイコーフレッシュフーズでも、以下のような取組を行っています。



### 荷待ち時間の解消

運送会社の集荷に当たって、「バース予約システム」の導入により、荷下ろしの順番待ち解消だけでなく、受け入れ側も余裕をもって受け入れが可能となりました。

### 積み・荷下ろし作業の効率化

出庫から帰庫までの流れを作ること、台車の軽量・コンパクト化、台車を畳んでの回収、荷積み場所の確保などを行っています。



運送会社



Secoma



## 【建屋内の見学の様子】

意見交換の後は、物流センター内を案内していただきました。意見交換と物流センター内の見学の様子は、北海道労働局公式YouTubeでも公開いたします（近日公開）。

